

令和5年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子



四季の森 3月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

修了を機に ～進級の意味～

学校長 森脇 信行



池の横の梅が咲きました

修了、卒業の月を迎え、この一年間の活動を通して、心身共に成長した子ども達の姿が多く見られます。このことは、保護者・地域の皆様との共育の成果でもあります。心より感謝申し上げます。また、残り1ヶ月間、学習のまとめを行い、新しい学年に向かって、充実した1ヶ月にしたいと考えております。

さて、この一年間でのお子様の成長ぶりはいかがだったでしょうか。一年前の4月を思い起こすと、身長や体重のように目に見える成長だけでなく、できるようになったことがたくさんあることに気づかされます。新しい学年を迎えるこの時期は、学校としても子ども一人ひとりの成長を見つめるとても大切な時期です。私は約40年間の教員生活の中で、3月から4月にかけて1ヶ月間で、大きく成長する子どもをたくさん見てきました。1ヶ月で体が急に大きくなるわけではありません。急に学力が伸びるわけでもありません。成長させた要因は何でしょうか。それは、その子どもの心構えや気持ちの変化ではないかと思っています。意識の持ち方一つで、行動が大きく変わります。卒業式・修了式を目前に控えた学年末という節目は、子どもが進学や進級に対する心構えを作る大切な時期となっています。これまで自分が積み重ねてきた学び、仲間と築きあげた絆など、かけがえのない経験に自信をもって4月から始まる新しい生活に向けた心構えを育てていってほしいと願っています。学校でも、担任は学級の子ども一人ひとりが、この一年間でどれだけ成長したかを日々の実践記録を通じて確認します。子ども達のこの一年の成長や進級を機に、次へのさらなる成長へとつなげてきたいと考えます。

子育てはいろいろと難しいことも多くありますが、親として我が子が将来どのような大人になってほしいのかをきちんともつことは大切です。その上に立って、今、子どもに求めることは何なのかを考えていくことが必要だと考えます。是非、一年が終わった今月末に、お子さんとこの一年間の成長を振り返ってみてください。私たち職員集団も常に一人ひとりの子どもにあった指導を模索しています。保護者の皆様や地域の方々と一緒に考え、共に子ども達の成長を感じながら、一人ひとりにあった教育をより一層進めていきたいと考えています。

